

平成 23 年度第 9 回（12 月）理事会 議事録

日 時： 平成 23 年 12 月 8 日（木）午後 18 時 30 分～8 時 30 分

会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所

出席者： 今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、増田、山西、杉山、山田、栗本監事、事務（出口）

欠席者： 清水、大垣、山中監事

議 長： 今井

【 討議内容 】

・ 行動報告（11 月分）

別紙参照

・ 経過報告

1. 日臨技

- ・ 11 月 12 日（土）臨時総会が開催された。第一号議案（反対 3,141、保留 5）、第二号議案（反対 4,089、保留 283）、第三号議案（賛成多数）ですべて可決された。
- ・ 11 月 26 日（土）関西支部準備説明会が開催された。支部幹事については、大阪は今井、兵庫は中町、滋賀は竹島、奈良は山本、和歌山は村田、京都は今井、福井は谷口が担当し、支部長は森嶋が担当する。いずれも任期は平成 23 年 12 月 1 日から平成 24 年 5 月 26 日までの暫定役員となる。
- ・ 日臨技総合研究所設置検討委員会委員に、関西支部から兵庫の金氏を選任した。

2. 近臨技

- ・ 11 月 23 日（水）新近臨技打ち合わせ会が開催された。出席者は近畿各府県の会長、事務局長および学術部長で、近臨技の定款および諸規程の最終確認を行った。
- ・ 新近臨技の発足に際し会員向け説明文書を作成することとした。また、日臨技臨時総会（11 月 12 日）についても会員向け報告書を作成することとした。
- ・ 第 59 回日本臨床検査医学会学術集会プログラム委員会に協力することとした。
- ・ 11 月 26 日（土）に、近臨技解散式・新近臨技設立式を開催した。
- ・ 12 月 17 日（土）に、第 1 回新近臨技理事会が開催される。

3. 事務局

総務部 11 月 16 日（水）に部会を開催した。

- ・ 公益法人化に向けての今後の対応について検討した。
- ・ 平成 24 年度からの会員区分における対策について検討した。
- ・ 事務局からの広報について検討した。
- ・ 大臨技会長賞について検討した。
- ・ 大臨技会員表彰について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 11 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

会計部 11 月 16 日（水）に部会を開催した。

- ・ 10 月度収支決算書を作成した。

- ・ 11月分事務員給料の振込を行った。

渉外部 11月15日(火)に部会を開催した。

- ・ 平成23年度乳がん検診フォーラム(11/19)について打ち合わせを行った。
- ・ 合同フォーラム第3回委員会(11月1日開催)について報告を行った。
- ・ 手話講演会(12月3日開催)について打ち合わせを行った。
会場：大阪医療技術学園
講師：徳永 京子先生
参加者：会員18名、一般2名、学生80名(計100名)
- ・ 献血推進活動(平成24年2月予定)について打ち合わせを行った。
- ・ 学術部病理・細胞部門、輸血部門府民公開講座の広報について検討した。
- ・ 来年度事業計画について検討した。

4. 事業局

情報組織部 11月17日(木)に部会を開催した。

- ・ 他職種合同ICT研修会(12月10日開催)について、役割分担等を決定した。
- ・ 第28回技師長会(2月25日開催)について内容の詳細を詰めた。

地区事業部 11月17日(木)に部会を開催した。11月2日に支部長会を開催した。

- ・ 施設連絡者会(3月中旬開催予定)について話し合った。
内容： 保険点数改訂について
技師会報告
今回は施設連絡責任者に案内葉書を送付する。
- ・ 支部長会に関して検討した。
- ・ 23年度前期事業報告、後期事業計画について報告した。
- ・ 大臨技の会員情報システムの構築・運用等に関して話し合った。

学術部 11月8日(火)に部会を開催した。

- ・ 会員区分に関して検討した。
- ・ 次年度の事業企画について検討した。

・ 他、報告

1. 日臨技役員選出委員会報告(運天副会長)(別紙参照)

11月25日(金)に、第1回役員候補者選出委員会が開催された。

選挙権の条件は、平成23年9月1日までに会員登録を完了した正会員。

委員長を小野 静氏に決定した。

役員候補者選出日程を下記の通り決定した。

- 1) 告示日：平成23年12月1日
- 2) 選挙人基準日：平成23年12月1日
- 3) 選挙人名簿閲覧期間：平成12月16日～平成23年12月28日まで
- 4) 立候補受付期間：平成24年1月16日～平成24年1月31日まで
- 5) 投票開始日：平成24年3月1日
- 6) 投票受付期間：平成24年3月1日～平成24年4月6日まで
- 7) 開票日：平成24年4月8日

各支部の理事候補を平成24年3月4日までに選出する。

関西支部からは3名選出する。内1名は支部長、残りの2名を関西支部からは運天副会長を推薦したいと今井会長からの要望があり、理事会承認とした。

2. その他

1) 輸血研修会資料の無断引用の対応（今井会長）（別紙参照）

大臨技の輸血部会で使用した資料が、別の研修会にて無断で使用されたとの連絡があった。

国臨協近畿支部で事実関係を調査したところ、無断で使用したとの事であった。内部で使用する資料であっても、著作権の問題があるので嚴重に注意し謝罪文を提出してもらうことにした。

2) 役員立候補・役員推薦候補・役員辞任届出書を回収した。

3) 標準化サーベイ委員会報告（山西理事）

今回の各計測値にバラつきが多く見られたため、結果速報がまだ出せない。このため、報告は年明けになる可能性がある。

4) 公益認定委員会について（運天副会長）

公益認定委員会が平成24年2月3日に開催されるため、早急に申請書の修正、添付資料を作成し、1月初旬には提出する予定である。

議 題

1. 平成24・25年度大臨技役員選挙日程について（運天副会長）

下記の日程で手続きを進めていくと言う事で、理事会承認とした。

1) 選挙告示1号の発行：平成23年12月20日に会員に告示する。

（大臨技ニュース平成24年1月号に掲載）

2) 立候補受付締切り：平成24年1月30日（必着）

3) 委員会開催：平成24年2月8日

4) 役員候補者名簿提出：平成24年2月8日

5) 新役員の推薦：平成24年2月9日

6) 新役員の報告：平成24年2月9日

7) 選挙告示2号の発行：平成24年2月20日～25日（大臨技ニュース平成24年3月号に折込）

8) 定期総会報告：平成24年3月22日

2. 平成24年度からの会員区分について（吉本常務理事）（別紙参照）

・11月29日（火）会員受付システム検討会を開催した。

前回から続きで最終内容について説明があり、理事会承認とした。

1. 会員受付システムについての基本方針

1) 現行 JAMTIS が将来地臨技用として利用できる可能性があり、経費の事も考えて大臨技専用システムの導入を待つ（概ね、1年間）。

2) 待機期間中に会員受付に対応可能なシステムを大臨技で作成する。

3) 上記状況が不可となった場合、会員管理、生涯教育等に対応した大臨技専用システムの構築を実行する。

4) 大臨技専用システムの構築に当たっては、作成委員会を定期的を開催し、委員は各部から招集する。

2. 会員受付の条件

1) 会員証もしくはそれに代わるもの（会費振込用紙控え）を忘れた場合は非会員扱いとする。

2) 大臨技ニュース・ホームページ等で、大臨技行事への参加時には必ず会員証を持参するよう広報する。

3) 会員証を忘れた会員及び非会員には、参加者把握のため手書き用参加者リストに記入してもらう。

3. 会員受付システムの具体策

1) 大臨技ホームページよりダウンロード可能な、会員受付用の統一フォーマット Excel 書類を作成する。

2) 「会員受付データ集約システム (Access 版)」を作成する。H23 年 12 月末までに完成予定。

3. 大阪市衛生検査所精度管理専門委員会について (今井会長)

今井会長より推薦があり、次期委員として下記の 4 名に決定した。

吉本理事、荒木理事、山西理事、山田理事

4. その他

1) 「組織運営規程」修正案について承認された。(運天副会長)

2) 日臨技より、各賞の受賞者推薦依頼がきた。(各賞受賞候補者推薦要領に関しては別紙参照)
候補者がいれば、平成 24 年 1 月 9 日必着なので年内中に今井会長まで連絡をする。

3) 協賛・後援の依頼

アボットジャパン(株)より、「社団法人大阪府臨床検査技師会 学術部 免疫血清検査部門 他職種公開講座」の協賛認可申請依頼(講師料 2 名分を負担)があり、理事会承認とした。

「第 63 回結核予防全国大会」(平成 24 年 2 月 13 日～14 日)後援名義使用申請依頼があり、理事会承認とした。